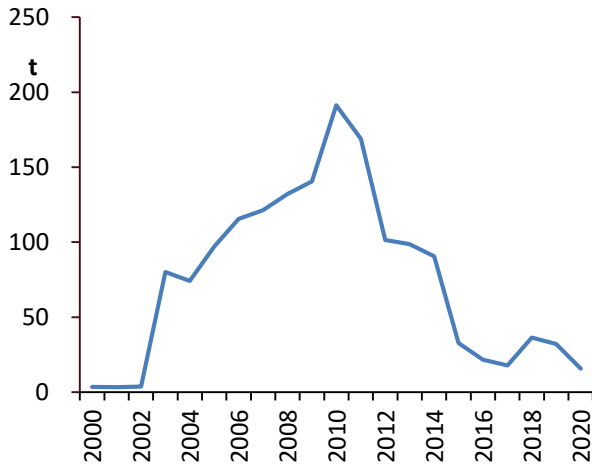


資源の動向 「低位・減少」



マナマコ漁獲量の年変化
(東京内湾: 横浜市漁協, 横須賀市東部漁協横須賀支所の水揚げ計)

東京内湾(横浜市、横須賀市)のマナマコの漁獲量は2003年から2010年(191トン)まで増加したが、その後減少しており、近年では、20～30トンの低水準となっている。

2015年から一部の漁業協同組合では、禁漁による資源保護を行なっている。2020年は新型コロナウイルス感染症の影響で中国向けの需要が減少したため漁獲量が減少した。

対象漁業

- 小型底びき網
- 刺網
- 覗突き(みづき)



生物学的特性

- 分布: 北海道～九州
岩礁域、砂泥底
- 移動: 着底後は大きな移動はない
- 成長: 生後3～4年で漁獲サイズ
- 産卵期: 4～5月

